令和８年度「＃あおばな in 八戸東高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和８年 10 月２日（金）１３：３０～１４：５０
○場所：青森県立八戸東高等学校　体育館
○参加生徒：２学年　223 名

＜知事講演＞

「青森新時代への挑戦～挑戦を支え、挑戦する県庁～」のテーマのもと、青森県を挑戦のフィールドにするための施策について講演しました。

＜生徒との対話＞

知事講演終了後、知事と生徒の皆さんが質疑応答の形式で対話しました。
主な内容は以下のとおりです。

	生徒からの質問	知事の回答
①	薬剤師を目指す学生に向けた支援制度	病院薬剤師の不足に対応するため、大学卒業後、所定の病院に一定期間勤めた場合、奨学金の返還を一部支援する制度を設けているので、ぜひ活用してほしい。
②	どの地域に住んでいても安心して受けられる療育体制の構築	療育施設を全ての市町村に設置できたら良いが、費用、負担などを考えれば現実的な対応が必要となる。県では、県内３か所の療育施設に対する支援に加え、医療的ケア児への通学支援を行っている。
③	県外にいる本県出身の若者がまた戻ってきたいと思えるような青森県の実現に向けた施策	八戸市では、サッカースタジアムを核としたまちづくりを計画している。サッカーだけでなく、他のスポーツやさまざまなイベントなどができるような、にぎわいの中心となる場所をつくっていきたい。
④	教員不足の解消に向けた県の取組	採用の枠組み拡大や、定年延長、働き方改革などを進めている。ただ、人口減少や少子化を踏まえると、構造的に学校の統廃合が必要。適切な規模の学校で、教員の数が十分確保されていて、子どもたち一人ひとりに行き届いた教育ができる環境を実現したい。
⑤	高齢化と情報化が進む中で誰も取り残されない環境をつくるための課題と解決策	一例として、高齢者に対する特殊詐欺の被害が増加している。この特殊詐欺にはオンラインを使ったものもある。高齢者に向けた注意喚起や警察が導入した特殊詐欺防止アプリを推奨して、高齢者を守らないといけない。




